

# 日産車体株式会社

2018年3月20日

## 当社国内車両工場における完成検査に係る不適切取扱いに 関する再発防止策の実施状況について

2017年11月17日に、当社は「当社国内車両製造工場における完成検査に係る不適切取扱いに関する実態調査及び再発防止策検討結果」をご報告致しました。以降、毎月の執行役員会議、取締役会において、再発防止策の実施状況を確認し、各対策を確実に実施するために、完成検査の人員体制、完成検査員の育成、及び監査体制の構築等を含め、活発に議論しており、全社一丸となって再発防止策の実施に取り組んでおります。

再発防止策 10 項、詳細アイテム 43 件の、現時点における進捗状況は下記のとおりです。

A) 2017年11月報告時点で実施済みの対策:	計 7件
B) 2017年11月報告以降、現在迄に実施済みの対策:	計 22件
C) 計画立案済み、実行中の対策:	計 11件
D) 計画立案中の対策:	計 3件

43件の再発防止策のうち、完成検査を規格に準じて確実に実施するための対策は全て実施済みです。その他実施済み、実行中、及び計画立案中の対策には完成検査における実施・管理の負荷軽減や円滑化、または完成検査員の知識の充実を図るための教育等の対策があり、未完了の対策は確実に実施すべく、継続して取り組んでまいり所存です。

各対策の具体的な内容については、次ページ以降の再発防止対策一覧をご参照願います。

以上

項目	No	再発防止策	11月17日報告における完了予定日	具体的なアクション、進捗	課題	D 計画立案中	C 計画立案済、実行中	B 2017年11月報告以降実施済	A 2017年11月報告時点実施済
①完成検査ラインの構成およびオペレーションの修正	1	予備印を廃棄する 各工場の監督者による印鑑の一括管理。保管、使用状況の記録等で管理を強化し、印鑑の運用ルールを業務処理基準書に定める	実施済み	10月に印鑑を粉砕、廃却。完成検査員の管理に関する基準書を作成					
	2	任命された完成検査員であることを可視化するため、完成検査員の作業帽を赤色に変更し、帽子に資格を明示する 作業中の完成検査員の写真、資格、検査内容を掲示板で確認できるようにする テスターライン上に完成検査員以外の者がいない編成にする テスターラインに完成検査員以外を入れないことを徹底するため、全ての教育・訓練を生産委託元の日産追浜工場に備えた訓練用テスターラインで実施する 完成検査票と標準作業書の整合を確認する	実施済み	10月より区画状態及びその立入に関する基準を策定し運用  湘南工場、オートワークス京都(以下、AWK)、日産車体九州(以下、NS-K)とも10月に実施済 10月より実施済 11月6日から追浜工場専用ラインで訓練開始  10月より実施。					
	3	完成検査員以外の人間の立入を制限するため、完成検査の実施場所を区画化し、セキュリティゲートを設け、セキュリティレベルを上げるため、入出場を管理する顔認証システムを導入する	2017年度末までに実施	顔認証システムおよび連動するゲート、シャッター等の工事108ステップ全てが3工場において完了。 AWKは1月、湘南、NS-K完検棟は2月から運用を開始。NS-Kテスターラインは5月連休明けに運用開始予定。	NS-Kテスターラインにおける日程通りの顔認証システム導入				
	4	最適な完成検査ラインを設計し順次導入する	-	品質管理システムのベンチマークを実施しシステム要件構築中					
②完成検査員の任命基準の見直し・教育基準の強化	5	任命・教育基準書に、「任命されていない検査員は完成検査に従事してはならない」旨を明記する	実施済み	9月20日『完成検査員の任命及び教育に関する基準』改訂					
	6	教育内容やその期間について、他社の内容も勉強した上で、より厳密に運用しやすい内容に改善する	2018年9月末までに実施	追浜工場完成検査員教育ラインでの教育実績および他社比較を踏まえた教育内容の改善案を検討中					
	7	全工場の完成検査員全員に対し、5時間の再教育を行った上で、理解度試験で80点に達するまで補習教育を実施する 試験での不正防止のため、日産管理職を試験監督者として派遣する	実施済み	11月7日実施済					
	8	完成検査員に72時間の再教育することを完成検査従事者の条件とする	2018年9月末までに実施	2018年2月迄に再教育計画策定完了。2018年4月より再教育計画に基づく72時間教育を実施予定。					
	9	受験生の理解向上のために、任命教育の内容、試験方法を見直す。理解度試験の公平性確保について、基準書に織り込む	2017年度末までに実施	試験を厳格に実施するため、完成検査員の所属部署以外に属する第三者が試験に立ち会うことを必須とし、また、立ち会いの記録を残すこととし、11月に基準書に反映。					
③完成検査人員管理の改善	10	完成検査資格保有者の工場別人員マップを作成・管理する	実施済み	生産再開に当たり人員マップを作成。人員マップ管理、JPHIに連動した所要人員の算出、年度要員計画、年度育成計画、予算化等、人員管理に関する基準書を策定し12月より運用開始。					
	11	時間あたり生産台数に連動した完成検査員の所要を把握する	2017年末までに実施	月度人員マップを工場長会議に報告					
	12	完成検査員の養成計画を策定・フォローし、また、年度予算へ織り込む	2017年末までに実施	育成計画を加味した所要試算、予算策定中					
	13	期間従業員の正規従業員化を促進する	2017年末までに実施	2月2日に社員登用計画をファイナライズ。1月末時点の登用実績は 湘南2名、NS-K1名。2018年6月に計画した全ての登用を完了する予定。					

項目	No	再発防止策	11月17日報告における完了予定日	具体的なアクション、進捗	課題	D 計画立案中	C 計画立案済、実行中	B 2017年11月報告以降実施済	A 2017年11月報告時点実施済
	14	2017年度中に、54名を新たに完成検査員として育成し、退職者を考慮して33名の増員を達成し、生産台数の増加に対応する	2017年度末までに実施	トライアル結果に基づき65名(湘南工場16名、日産車体九州49名)の育成、退職者を考慮して39名の増員とする。教育は計画通り進捗。湘南工場:16名全員が追浜工場完成検査員教育ラインに入校し10名が教育終了。日産車体九州:46名が入校し17名の教育が終了。採用の遅れにより入校計画49名に対し▲3名未達。未達分は湘南工場からの完成検査員応援者の延長で対応。2月15日迄に不足3名の採用は完了、2月26日に教育ラインに入校済。	今後退職者が出た場合の補充採用および教育				
	15	確実な完成検査を実施していくため、完成検査員の習熟度を上げ、人員体制の充実を図るまでの間、ラインスピードを通常速度よりも落とした運営を行う	実施済み	湘南:3月5日、NS-K:3月19日に当初計画のラインスピードでの運営に復帰。AWKは1月に復帰済。					
④完成検査の運用・管理の改善	16	完成検査工程を国土交通省への届出の工程と一致させる	実施済み	完成検査工程内でE26で17項目、E52で10項目を移動して10月27日に完了					
	17	完成検査工程の新規設計から、廃止に至るまでの生涯設計を目的に、完成検査工程を常に工場・本社の管理者層の管理下に置く運用プロセスにする 工場毎に完成検査工程の生涯管理責任者を任命する	2017年度末までに実施	2017年11月15日『完成検査管理実施基準』改訂 2017年11月22日任命完了					
	18	生涯管理責任者の管理下での工程設計に、現場の完成検査員も参画させる 完成検査工程の設計後、トライアルで実際の生産に適合するか確認することを工程承認の必須条件とする 完成検査工程を変更する場合の届出内容の社内承認プロセスを生涯管理プロセスに含める 完成検査工程の社内承認プロセス、届出の基準書を策定する(届出内容の品質保証部による事前社内監査の義務化等)	2017年度末までに実施	2017年12月に立ち上がったマイナーチェンジ車から適用開始済 『自動車型式指定の申請等の資料作成要領』を11月16日改訂済。JPH Up時はTCSXの確認を実施					
	19	日産自動車トータルカスタマーサティスファクション本部(以下、TCSX)による完成検査工程の届出内容の確認を義務付ける	2017年度末までに実施	『自動車型式指定の申請等の資料作成要領』を11月16日改訂済。JPH Up時はTCSXの確認を実施					
	20	当面の措置として、直当たり2回の自主モニタリングを実施する	-	10月31日『完成検査作業の監査作業観察実施基準』 11月16日『完成検査ライン立会基準』					
	21		-	作業観察基準に基づき作業観察を継続して実施中					
	22	当面の措置として、週1回のTCSXおよび外部監査機関による監査を実施する	-	TCSX及び外部監査機関による監査を継続して受監中					
	23	完成検査工程が届出通りの状態に保たれていることのモニタリングに関する基準書を策定する	2017年度末までに実施	三層構造の監査の第一層となる、自主保証ダブルチェックを各拠点で計画通り1月末より実施中。2018年月末までに実施要領を定める計画。					
⑤完成検査に関する理解を正すための方策	24	国土交通省の監査に対し適切な対応が行えるようにするため、完成検査に関する法令・基準書に対する再教育実施の中に監査における心構えについて織り込む	2017年度末までに実施	No.25教育に織り込む					
	25	品質保証業務全従業員に対する「完成検査に関する法令・基準書に対する再教育」を実施し、理解度試験で合格点に達するまで補習教育を繰り返す	2017年度末までに実施	11月24日に完了。さらに、新たに整備した「完成検査に関する法令・基準書に対する教育」の受講と理解度試験の合格を3月末までに完了予定。					
	26	車両工場の全従業員に対し、完成検査制度の重要性を周知徹底する	2017年度末までに実施	教育計画策定を完了し、年度内に実施予定。					
	27	「完成検査に関する法令・基準書に対する教育」を全社関連管理職・役員全員に実施する	2017年度末までに実施	教育計画策定を完了し、年度内に実施予定。					

項目	No	再発防止策	11月17日報告における完了予定日	具体的なアクション、進捗	課題	D 計画立案中	C 計画立案済、実行中	B 2017年11月報告以降実施済	A 2017年11月報告時点実施済
	28	教育内容が正しく理解され徹底されていることを確認するために、適切な対応を推進する	直ちに実施	監査/検査時は品証部以外の役員、管理部門職制による立会を実施					
⑥ユーザー目線に立ったもの造り	29	「CS Mind」研修実施を計画し、お客様目線での業務を再認識できる活動を推進する	2017年度末までに実施	2017年12月に教育を実施。新規異動者などについては2018年2月までに受講済					
		完成検査現場におけるユーザー目線を強化するために、工場の体制を強化する	⑨組織の強化参照						
⑦監査の改善	30	工場品質保証部及び日産と連携して3層構造の監査体制の構築し、より一貫性をもってリスク及びコントロールを把握し、各々の監査やモニタリングの計画に反映させる	2017年度末までに実施	第1層:各拠点における自主監査体制を決定し、自主モニタリングを開始した。 第2層:1月16日よりNS監査員候補の育成を開始した。 第3層:2018年度以降実施できるよう第3層の監査手続きを策定中					
	31	監査評価手続きを明確化、証拠の評価における特定の評価手続きを導入、証拠の保存に係る方針やプロセスの導入、事前通知なしの監査を実施する	2017年度末までに実施						
	32	リスクに基づいた監査を実施、監査発見事項に係る根本原因分析の実施	2017年度末までに実施						
⑧現場と管理者層の距離を縮めるための施策	33	当社経営層と完成検査担当係長との定期的会議を継続する	実施済み	12月以降毎月1回の頻度で実施中					
	34	当社経営層との係長会、工長会の意見交換の頻度を上げて継続する	実施済み	従来2回/年だった会議を、12月以降毎月1回の頻度で実施中					
	35	工場別生産計画台数及び、一定以上の台数増減計画への係長層の参画	2018年末までに実施	係長が生産体制会議、製造体制会議へ参加し、完成検査員の充足度(年休・リリーフ含め)を管理、決定するプロセスを12月(1月体制)より実施					
	36	配置転換を含む工場の人員調整への係長層の参画	2018年末までに実施	12月(1月体制)より実施					
	37	完成検査員任命・教育プロセスを含む基準書策定・改訂に係る係長層を参画させる	2018年末までに実施	10月より実施					
⑨組織の強化	38	品証課長を各工場1名増員し2名体制とし、増員の1名は係長から登用する	2018年1月実施	1月1日付で品証課長2名、係長2名を新規に任命済					
	39	完成検査担当の係長を1名増員し2名体制とする	2018年1月実施	↑					
⑩上記対策の実施及び進捗フォロー体制について	40	対策実行の進捗を、生産担当専務が執行役員会議及び取締役会に報告する	2017年12月から実施	2017年12月より報告実施					
	41	内部統制関連事項の進捗を社長が執行役員会議及び取締役会に報告する	2017年末迄に実施	年2回の内部統制振り返りの報告事項に含める。次回は2018年4月に実施予定					
	42	対策の効果・定着を測定するための「法令遵守」「現場との壁」に関連した設問を設けた従業員サーベイを実施する	次回サーベイ実施時	2018年3月に実施予定					
	43	「コンプライアンス・法令遵守」を新中期計画の基盤の一つと位置づけKPIを設定し、社長が進捗をモニターしていく	即時検討	KPI及びコンプライアンスの強化を目指した具体的な活動については、2018年度から取り組むべく立案中。					